022年秋才 ノンを目指-

□教育総務課 施設係(凪32・9027)

事が始ま

ます



を目指して、総合市民センター市では、令和4(2022)年 建設事業を進めています。 総合市民センターは、体育館機能を兼 - (仮称)の開館

の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたし 会で建築工事請負契約議案が可決され する施設です。6月2日に市議会臨時議 ね備えた多目的ホー 末までとなっています。工事にあたり、 健康増進、子育て支援の3つの部門で構成 工事期間は令和4(2022)年 月より本格的に着工します ルを有し、 市民

ますが、ご理解ご協力をお願い します。

旭設の基本理念

年には、 策定するなど、当初から約5年間のの計画をもとに基本設計・実施設計関する基本計画をまとめ、その後、 ております。 設に係る準備期間を経て、 方検討委員会より 本施設の基本理念は、これまでの各委 平成27年に、 基本計画をまとめ、その後、こ、基本計画検討委員会が建設に委員会より提言を受け、平成2927年に、総合市民センターあり 在に至っ 建 を

生産学習活動等の施設として、市民の心員会の意見を踏まえ、文化芸術の振興や

会を増やし、本市の新たなにぎわいを創出や福祉活動など、世代間・地域間交流の機活動やスポーツ活動、さらには子育て支援 会の実現に寄与するとともに、生涯学習豊かな生活やにぎわいと活力に満ちた社 ための拠点とします。 することにより、市民が強い絆を形成する

建設に係る財源

令和4年度

(2022年度)

は、本計画に基づいた事業であり 定し、その計画に基づき地域の振興の おり、過疎地域自立促進市 め、事業を実施しています 総合市民センター (仮称)建設について

借入額の約7 割が

令和2年度

(2020年度)

市では、過疎対策事業債を有効活 計画的に事業を展開しています

総合的、

います。

(過疎法)により過疎地域に指定されてみやま市は、過疎地域自立促進特別法 地域の振興のたい町村計画を策

割となり、総合市民センター(仮称)建設みになっており、市の実質的な負担は約3国から地方交付税として交付される仕組 疎債)を借り入れる予定です。 費による市の財政負担の軽減につながって 有利な特別措置である過疎対策事業債(過 過疎対策事業債は、

財政 市民センター建設スケジュール 8月から杭・基礎工事を実施します。令和3年度に躯体・内装工事、浄化槽・ 外構工事を行います。開館準備期間を経て令和4年秋をオープン予定とします。 オープン(予定) 躯体工事 基礎工事 内装工事 開館準備 躯体工事など 外構工事など

令和3年度

(2021年度)

1階平面図 小さなお子様と一緒にゆっくり観覧できる親子室 際の観覧席(約180席) 2階平面図

300

茶道や華道などにも利用できる42畳の和室

移動間仕切により2室にすることも可能

展示などに使うことができるホワイエ

T

清水山への眺望が得られるトレーニングルーム ウエイト系、有酸素運動系を中心にトレーニング器具を設置

調理実習室として利用でき、講師用1台、生徒

用4台の調理台を設置

屋外広場に面した明るく開放的なスペースで、ベビーカー置き場

キッズエアロビクスや介護予防のダンスなど、子どもから高齢者

演劇や講演会などが行える多目的ホール(最大約800人収容) 体育館としての機能も備え、ミニバスケットボール、バレーボール、

移動間仕切によりさまざまな大きさで利用できる会議室(最大約

リハーサルや練習以外にも、フィットネスルームの機能も兼ねる、

を設けるなど、子育て世代が利用しやすいスペース

まで誰もが利用できるマルチルーム

バドミントンなどの競技が可能

遮音構造のリハーサル室

100人収容)

建設予定地と現場事務所の位置について

みやま市瀬高町下庄 792 番地 1 (市立図書館西 側)に、鉄骨・鉄筋コンクリート造りの2階建て、延 床面積約6,000㎡の市民センターの建設にあた り、敷地の仮囲いをし、北西エリアに現場事務所を 設置しています。



5 広報みやま 2020.8月号 広報みやま 2020.8月号 4